ファイルシステム同期コマンド出力の動作変更 の確認

内容

はじめに

影響を受ける製品

関連するCDETSおよびSR

<u>症状</u>

解決方法

変更の説明

回避策/回復方法

根本原因の分析

はじめに

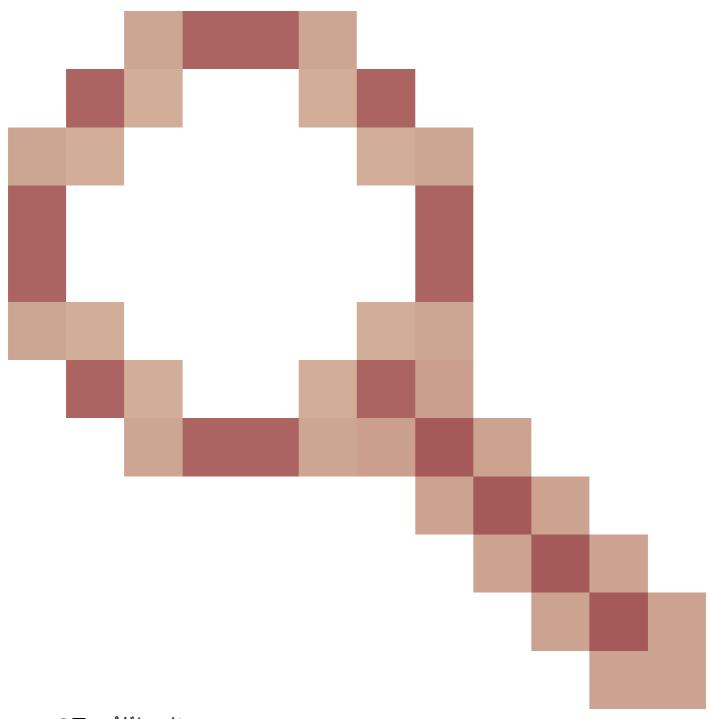
このドキュメントでは、filesystem synchronizeコマンド出力のCLI出力での動作変更に関連する表示上の問題について説明します。

影響を受ける製品

すべてのASR5500またはVPC-DIプラットフォームが影響を受ける可能性があります。

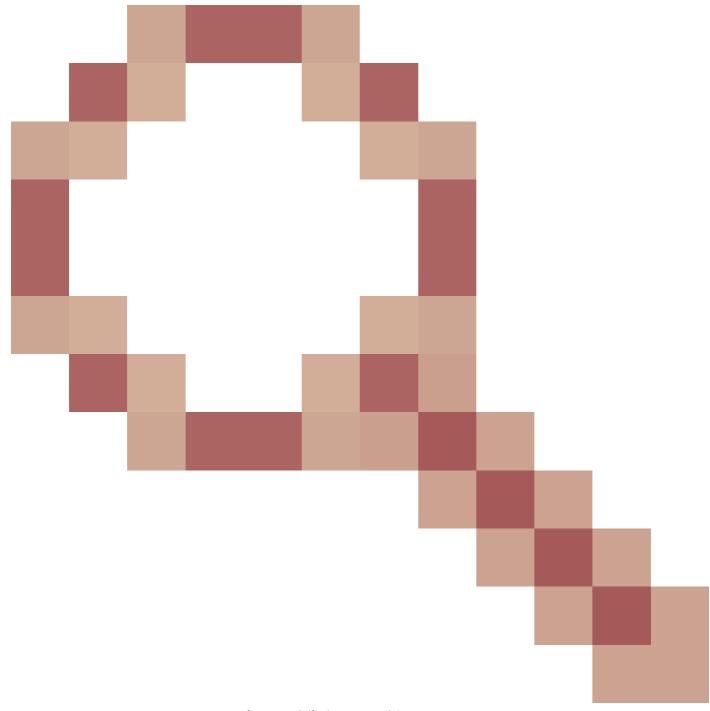
関連するCDETSおよびSR

Cisco Bug ID CSCwi07618



: rsyncのアップグレード

Cisco Bug ID CSCwk56061



:filesystem synchronizeコマンド出力の動作変更を更新するためのドキュメント。

症状

StarOS Rel 21.28.m23および21.28.mh14以降で見られるfilesystem synchronizeコマンドのCLI出力の動作変更に関連する問題があります。これにより、ファイルを同期するとき、またはゲートウェイ上の管理(MIOまたはCF)カード間でファイルを同期する前にチェック(チェックのみ)するときに、どのファイルを更新するかについて疑問が生じる可能性があります。これは表面的な変更にすぎず、ファイルシステムの同期機能には影響しません。

例:

filesystem synchronize /flash checkonly

filesystem synchronize /flash

21.28.xリリース(vPGW VPC-DI HermesおよびASR5500 - 21.28.mh14および21.28.m23以降の両方)では、filesystem synchronizeコマンドを実行すると、この動作の変化が観察されます。

以前の動作では、すべてのファイルが管理カード(MIOまたはCF)間で同期されると、「更新するファイルがありません」と表示されていました。 また、更新されるファイルのみが表示され、更新済みのファイルがすべて表示されるわけではありません。出力は、/flashまたはallオプションの有無にかかわらず確認できます。

例:

[local]ASR5500# show version

Wednesday February 12 17:23:36 UTC 2025

Active Software:

Image Version: 21.26.25
Image Build Number: 90634

Image Description: Deployment_Build

Image Date: Mon Jul 17 19:52:57 EDT 2023

Boot Image: /flash/sftp/asr5500-21.26.25.90634.Production.ER.bin

Source Commit ID: add2fbdb36283a20938771a297d169132e82f0b4

[local]ASR5500# filesystem synchronize /flash checkonly
Wednesday February 12 17:50:01 UTC 2025

1 to be updated on card 6

/flash/sftp/testfile.txt

[local]ASR5500# filesystem synchronize /flash

Wednesday February 12 17:51:20 UTC 2025

1 to be updated on card 6

/flash/sftp/testfile.txt

Are you sure? [Yes|No]: yes

Wednesday February 12 17:51:29 UTC 2025

Updating /flash/sftp/testfile.txt

1 updated on card 6

/flash/sftp/testfile.txt

[local]ASR5500# filesystem synchronize /flash checkonly Wednesday February 12 17:51:37 UTC 2025

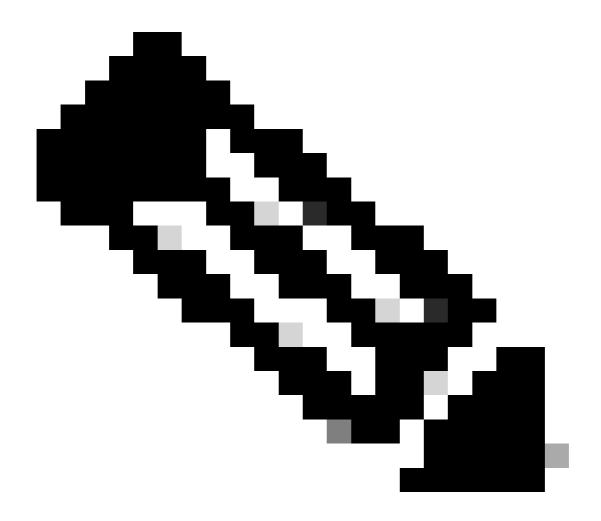
No files to update

次に、21.28.xでのrsyncアップグレード後に、カードxで更新されるファイルと、カード上ですでに同期され追加されている(ただし新しい)すべてのファイルをリストします。

[local]ASR5500# filesystem synchronize checkonly
Thursday January 23 17:27:28 UTC 2025

CLIリファレンスガイドの追加の例:ファイルシステムの同期(「修正」セクションにあるリンク)。

同期を開始する前に、同期を確認する必要があります。次に、コマンドの出力例を示します。



注:この動作を示すために、testfileという名前のファイルが作成されます。

```
Active Software:
 Image Version:
                                21.28.m23.93622
 Image Build Number:
                                93622
[local]QVPC-DI# filesystem synchronize /flash checkonly
2 to be updated (but are newer) on card 2
     /flash/module.sys
     /flash/staros.bin
[local]QVPC-DI#
[local]QVPC-DI# filesystem synchronize /flash checkonly
1 to be updated on card 2
     /flash/testfile
2 to be updated (but are newer) on card 2
     /flash/module.sys
     /flash/staros.bin
[local]QVPC-DI# filesystem synchronize /flash
1 to be updated on card 2
     /flash/testfile
2 to be updated (but are newer) on card 2
     /flash/module.sys
     /flash/staros.bin
Updating /flash/testfile
******
1 updated on card 2
     /flash/testfile
[local]QVPC-DI# filesystem synchronize /flash checkonly
3 to be updated (but are newer) on card 2
     /flash/module.sys
     /flash/staros.bin
     /flash/testfile
qvpc-di:card2-cpu0# cd /flash
qvpc-di:card2-cpu0# ls -lrth
total 200M
             1 root
                                 195.9M Apr 28 08:17 staros.bin
-rw-rw-r--
                       root
-rw-rw-r--
             1 root
                                    134 Apr 28 08:17 boot.sys
                       root
                                   4.0K Jun 4 06:13 sftp
             2 root
drwxrwxr-x
                       root
                                   4.0K Jun 4 06:13 persistdump
drwxrwxr-x
             2 root
                       root
                                    156 Jun 4 06:13 module.sys
-rw-rw-r--
             1 root
                       root
             2 root
                                   4.0K Jun 4 06:13 crsh2
drwxrwxr-x
                       root
                                   3.7M Jun 4 06:13 crashlog2
-rw-rw-r--
             1 root
                       root
             3 root
                                   4.0K Jun 4 06:14 patch
drwxrwxr-x
                       root
                                     79 Jun 4 06:14 restart_file_cntr.txt
-rw-rw-r--
           1 root
                       root
-rw-rw-r--
                                     17 Jun 4 06:22 testfile
             1 root
                       root
qvpc-di:card2-cpu0# cat testfile
staros 21.28.m23
```

[local]QVPC-DI# show version verbose

解決方法

この問題はシスコによって理解されており、ドキュメントは新しい動作を反映するように更新されています。

Cisco Bug ID <u>CSCwk56061</u>:filesystem synchronizeコマンド出力の動作変更を更新するためのドキ

ュメント。

変更の説明

マニュアル:コマンドラインインターフェイスリファレンスモードE-F

第1章:Execモードコマンド(D-S)

トピック:ファイルシステムの同期

詳細:「使用上のガイドライン」の後に、コマンドの出力例を追加。

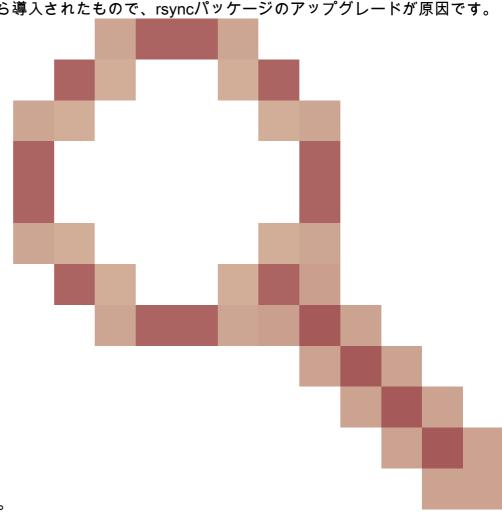
URL: コマンドラインインターフェイスリファレンス、モードE ~ F、StarOSリリース21.28

回避策/回復方法

これは機能の変更ではなく表面的な変更であるため、この問題の回避策は不要です。

根本原因の分析

コマンドfilesystem synchronize /flash checkonlyの出力が変更されました。このコマンドは 21.28.m23 / 21.28.mh14から導入されたもので、rsyncパッケージのアップグレードが原因です。



Cisco Bug ID CSCwi07618.

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版(リンクからアクセス可能)もあわせて参照することを推奨します。